

516
377



始



31.2.29

英大文學叢書

(4)
(5)

海へ乗り行く者

(一幕劇)

シオング作

幡谷正雄譯

東京健文社發行

1925

序

英文學は世界文學に於ける一大寶庫である。實に上下一千二百載に亘る英文學の廣汎にして多趣多様なることは、他の文學にその比を見ない。現今我國に於いては佛蘭西文學、露西亞文學等の研究が隆盛になつてゐるが、近代に於ける華やかな大陸新興藝術もその影響の大半を英文學に受けてゐる。

我國は維新當時より英米兩國と特殊の親交を結んだため、英語は今や外國語中最も廣く行はれ、英語の知識の多少でもないものは殆ど少いといつてもよい位になつてゐる。而して他の歐米諸國の思想感情をも英語を通じて攝取し、精神的文化の營養を與へたことは深大なものがある。

然しながら英語の普及する割合に、文學としての鑑賞や研究は未だ充分の域に達してゐるとはいへない。英語を知つて英文學を知らぬ者もある。それは實用英語の研究に甘んじて文學としての英語研究を忘れたためである。殊に今日の中等學校に

於いては多く語學教授にのみ止まつて、文學に依る精神的教養は稍もすれば怠り勝てある。文學と語學は車の兩輪の如く、相伴はなくては眞の鑑賞も研究も不充分といはればなるまい。

この缺陷に鑑みて、著者は淺學菲才、核心的冒瀆をも顧みず、譯註叢書『英文學名著選』を企て、主として英米文學の中より古今に亘る有名な大家の手になる珠玉逸篇青年必讀の美文、内容文章ともに英文の模範至寶となれる代表的名篇約百餘種を選び、これに適切なる譯文と詳密なる註解の手引を添へて公にすることゝなつた。收むる所、詩あり、戯曲あり、小説あり、隨筆あり、物語あり、論文あり、凡そ英米文學の名篇にして、我國に於いても熟知せられ、學校等に於いて讀まれるものは悉く網羅し盡してある。殊に著者は多年親しく學生諸子と接し、教室以外獨學の助けとなるべきものゝ要求を知つてゐるので、これによつて學生諸子が勉學の餘暇、殊に休暇等を利用して本叢書に親まれたならば、稍もすれば無味乾燥に走り安い英語研究に趣味と愉樂を齎し、現今の語學教授の補充の一端ともなるかと僭越ながらも考

へた次第である。

斯様な意圖の下に英文學の普及を計るため、携帶の便を計り、定價も低廉にして、中等學校の上級生以上の程度の人には何人にも讀み易きようにした。從來世に現はれてゐる譯註物は多くは對譯である。然し本叢書はこの形式を排して別に譯文を附した。讀者は先づ英文を熟讀して、難解の所は脚註によつてその意味を知り、更に意味の明かでない時は譯文を對照せられることを望むのである。従つて譯文はなるべく原文に忠實に譯してあるが、譯文を獨立してゐるので、單に文學として鑑賞される人でも好都合かと思はれる。但し場所によつて譯文又は註釋の各の一つのみでは充分意味の明かでない所は兩者を合せて參照せられんことを望む。又内容の難易及び頁數等の關係によつて註解の詳細なるものと簡略なものがあることも知つて置いて貰ひたい。

著者は元より人に誇示すべき何等の學殖を有たない。著者は寧ろこれによつて英文學を研究する機會を與へられたので、大方の諸子の援助と指導とによつて英文學

の堂奥に入りたいたのである。これによつて讀者諸子が英文學の研究に一步を進められ、そこに無盡の珠玉を掘り出し、又滾々と湧き出づる清泉を汲みほされ、或は香り高い花の匂ひに接せられるならば、著者は望外の満足とするところである。

終に臨み、學生諸子のために多年参考書を出版してゐられる健文社主鮎貝秀三郎氏が、この叢書のために少なからぬ盡力を傾がれることを感謝する次第である。

一九二五年六月

著者識

解説



シンクの生涯

愛蘭文學の大立物であり、又英國近代劇から見ても、シンクが一つの大きな歴史的事實であつたことは何人も首肯する所である。

ジョン・ミリングガトン・シンク (John Millington Synge) は一八九一年四月十六日に、ダブリンに近いニューワトソン・リットル (Newton Little) に生れた。父は辯護士であつたが、内氣な方で、辯護士には適しなかつた。母は牧師の娘で、兩人共に幸福な生活を送り、嚴格な新教主義で子供を養育した。ジョン・ハッチの第八子として生れたシンクは、先づ私立學校で不規則な教育を受けたが、薄弱な體であつたので、十四歳の時學校を退き、家庭教師に就いた。彼は山や谷や林や野をさまよふことが好きであつた。そして後には色々樂器を弄んだこともある。一八八八年ダブリン・トリニティ大學に入り、一八九二年、伯希來語及び愛蘭語で賞をうけ、又愛蘭音樂會院に入り、奨學金を受けた。かくて彼れは二十歳の頃

に獨逸に行つて音楽を學んだが、失戀やその他の事情でこれを擲ち、作家にならうとして巴里に赴いた。そして月評や雜文で貧しい生活をしてゐた。

然しこゝに記憶すべき一つのことがある。一八九八年三月にシングは初めて巴里でイエイツに邂逅した。當時彼は文壇には名もなき一寒生たるにすぎなかつたが、炯眼なるイエイツはシングの隠れた天才を認め、「巴里を離れ給へ。ラシイヌを讀んだつて何も作れるものぢやない。佛蘭西文學の批評家ではアアサ・シモンズには叶はないよ。アラン島に行き給へ。君はあそこの土民の一人になつたつもりで暮し給へ。そしてまだ表白を持つてゐない生活を描き給へ」(「聖泉」序)と勸告した。アラン島といふのは愛蘭の西海岸にある絶海の孤島である。イエイツはその島の旅から歸つて來たばかりであつたので、原始的な島民の生活の印象が頭腦中に鮮かに残り、同時はその心中にも新しい藝術運動を開拓しようといふ熱情に燃えてゐたといふことも忘れてはならぬ。

かくてシングはアラン島に行き、イニシユマンに數週を送つた。この間に出來たものがあるのみではなく、後年のシングの戯曲の素材が悉くこの本に含まれてゐる點に於てシング

研究者の必讀の書である。この旅行によつて得た知識を土臺として、一八九九年から一九〇二年の間までに、『谷間の蔭』(In the Shadow of the Glen)『海へ乗り行く者』(Riders to the Sea)等が出來た。

一九〇二年の終頃彼は巴里を永久に去つた。そしてその歸途數ヶ月を倫敦で過した。一九〇三年の正月にはジョン・メスファイイルドに始めて逢つた。

シングが佛蘭西を去つて死に至る數年の間は彼の創作の全盛時代である。一九〇七年ダブリンで『西方のお調子』(The Playboy of the Western World)が演出せられてから、彼は到る所て激烈なる民衆の反抗を受けた。この事は彼の健康に著しい打撃を與へたらしむ思はれる。一九〇八年彼は腫瘍のために入院して一時は健康にとなりかけてゐた。所が同年十月二十六日最愛の母を失つた。母思ひの彼は丁度獨逸にゐたが、この悲報を受けて、驚愕悲嘆の極に達し、再び健康を害して入院する身となつた。彼は最後の數ヶ月を費して『ダイダア』(Deirdre)を完成しようとし、又僅かの詩を書いた。これより先、アメイ一座の花形で頗る美聲を有する天才女優オオルグッドと婚約した。この女優はシングの病室で『ダイダア』を演じて病中のシングを鼓舞したが、『ダイダア』は彼の生前には終に完成せられ

なかつた。

死の前に彼は多くの手紙と詩とを破壊した。一九〇九年三月二十四日午前五時、彼は三十七歳の身を以て永久にこの世を去つた。

彼の短い生涯は實に哀に悲しくも不幸なものであつた。けれども彼が残した六篇の戯曲は、今では立派なクラシックと見做されてゐる。そして今や彼の作は殆ど世界各国語に譯されて、その影響は著しいものがある。

「海へ乗り行く者」

「海へ乗り行く者」はシングの代表作であつて、一幕物の優越なものとして、近代劇の選集にもなくてはならぬ名作である。この劇の舞台は愛蘭の西の沖としてあつて、疑もなくアラン島である。シングが島民から聞いた實際の悲劇がこの劇の根柢となつてゐることはいふまでもない。尙又ある批評家はヒエル・ロテイの影響もあつたといつてゐる。

海の呪咀の纏繞する漁夫の悲劇を描いたこの劇は、幕が上ると共に観客を海へ引き入れる神秘凄惨な印象を與へる。モオリアは悲しい運命に泣く女の象徴である。赤い牝馬と緑

の小馬にミカエルとバアトリーイが乗つて行くのを見た時から、最後の諦めに達する迄、モオリアの心は夢幻の中にさ迷つてゐる。さうして落着いた然かもその底に涙を伴つてゐる痛ましい諦めに終つてゐる。カスリーンは仲々しつかりした所のある、思慮の深い、そして情の厚い女である。ノオラはこれに比べると、思慮の浅い、まだほんの子供である。バアトリーイは死の象徴である。

この劇は非常に力強い悲劇である。大海の前には人間は小さな哀れなものである。この人間と自然との争闘が劇中の人物を偉大にする。この如何ともすることの出来ぬ自然の壓迫に處げられる人間の哀れな姿を吾々はぢつと凝視してゐるばかりである。すべてが死と涙の悲劇である。この劇に現はれてゐるシングの運命觀は、明白に異教的で、藝術的な運命觀である。この點でこの劇を屢々ギリシヤ悲劇に比較させる。運命に對する無益な反抗と、その絶對的な屈從を主眼とした點から見て、モオリアはエスキラスの作中の人物の如き感がある。

この劇の缺點を指摘した評家もあるが、對話が非常に巧みに使ひこなしてゐる點、發展して行く事件の多いこと、場所を極限まで狭めてゐる點、悲劇の中にも彼一流のヒュウモ

アを変ぜた點等長所を擧げれば澤山ある。兎も角、この劇の如きはしんみりと味ふべき逸品であることは何人も異存はあるまい。沙翁以後の傑作といふ激賞はともあれ、舞台効果の入念と洗練に於いては實にシングの右に出づる者はないといつてよい。

凡例

一、シングの劇の註釋は外國でもまだ出てゐないと思ふ。日本では英文學叢書の内に市河三喜氏のものがある。又同氏の「英文法研究」の中の「Irish-Englishの語法」は、シングの劇を読む参考となる。

一、シングの参考書の主なるもの。

Bourgeois: J. M. Synge and the Irish Theatre. 1913.

Bickley: J. M. Synge and the Irish Dramatic Movement. 1912.

Howe: J. M. Synge. 1912.

Yeats: Synge and the Ireland of His Time. 1911.

一、シングの Bourgeois のなまなまの語彙。

一、シングの「谷間の聲」の註釋と序文の譯文である。

海へ乗り行く者

幡谷正雄
シ
ン
グ
作
譯

人物

モーリヤ	老 婆
バートリー	その息子
カスリーン	その娘
ノーラ	妹 娘

男女數人。

場 面

アイルランド西部の沖合の或る島。

田舎家の藥所、網、合羽、絲、壁には數枚の新しい板などがたてかけてある。カスリーンは二十歳位の娘、メンを捏ね了へて、爐の傍の燒釜に入れる。それから手を拭いて、絲車で糸を紡ぎ初める。小娘のノーラは戸口から覗み込む。

ノーラ (低い聲で) お母さんはどこなの？

カスリーン 横になつてゐるのよ、まあかはいさうに。もしかすると、寝てるかも知れないわ。

(ノーラはそつと入り、ショールの下から包を取り出す)

カスリーン (絲車を手早く廻しながら) それは何だの？

ノーラ あの若い坊さんが持つて來なすつたの。ドネゴールで溺死しんだ人から取つたシャツと飾りのない靴下なのよ。

(カスリーンは急に絲車を止めて、體を乗り出して聞耳を立てる)

ノーラ お母さんが海邊うみはたへ見に行つたら、その後でこれがマイケル兄さんのか見ようね。

カスリーン まあお前さんどうしてそれがマイケルのものかね。そんなに遠く北の海の果まで行く譯はないぢやないの。

ノーラ 若い坊さんのお話ではそんなことはよくあるんだつて。「これがマイ

ケルのだつたら、お母さんに言つとくれ。神さまのお恵みで、マイケルは立派な葬式おこほらひをして貰つたとね。若しマイケルのでなかつたら、誰もそのことを決していつちやいけな。お母さんは泣き悲しんで死んでしまひなさるから」と、言ひなさるのだよ。

(ノーラが半分しか閉めない戸が折からの一陣の風でメツと吹き開けられる)

カスリーン (心配さうに外を見ながら) お前さんは坊さんに頼んで、パートリー見さんが今日馬を連れてゴールウェイいもの市に行くのを止めさせて下さるやうにしたかい？

ノーラ 坊さんのおつしやるには、「わしは止めはしないが、決して心配なさるな。お母さんは夜中お祈をしてゐられるんだから、神様だつて息子さんを一入残らず奪さらつてしまつて、困るやうになさる筈はない」ツて。

カスリーン 白岩のところは波が荒れてるの？

ノーラ まあ、かなり荒れてゐるよ。西の方で轟々と大變鳴つてゐるが、それ

に潮が變つたら、もつと荒れるでせうよ。(包をかゝへてテーブルの方へ行く。)
今開けて見ようか？

カスリーン ひよつとするとお母さんが眼を覺まして、まだ見てしまはないうちに入つて來なされるかもしれないよ。(テーブルの方へ行きながら)それに二人が泣きはじめたら、仲々止められないだらうね。

ノーラ (奥の戸口へ行つて耳を澄ます) お母さんは床の上でコソコソしてゐる。すぐ出て來るよ。

カスリーン 梯子を貸しておくれ、屋根裏の泥炭置すくもおきに入れとかう、さうすればお母さんにはちつとも氣がつくまい。そのうちに潮でも變つたら、兄さんが東から流されて來やしないかと海へ見に行きなされるだらうから。

(二人は煙突の張出しに梯子をかけすける。カスリーンは二三段登つて包みを屋根裏の泥炭置すくもおきに隠す。モーリヤが奥の部屋から出て來る。)

モーリヤ (カスリーンを見あげながら小言らしくいふ) 今日晩まで泥炭すくもはこれで

澤山ぢやないか？

カスリーン 今ちよいとの間お菓子を焼いてゐるんですよ。(泥炭を投げながら)それにバートリー兄さんも潮が變つて、コネマーラへ行くとすりや、どうせ要るでせうから。

(ノーラは泥炭を拾ひあげて、燒釜の周圍に入れる。)

モーリヤ (爐の傍の臺に腰を下して)西南の風であの子は今日は行きやしないよ。若い坊さんがきつとおとめになるから、今日は行きやしないよ。

ノーラ お母さん、坊さんはお止めなさりやしないのよ。それにイーモン・サイモンも、ステイーヴン・フィータイーも、コラム・シヨーンも、兄さんは出かけるだらうといつてたよ。

モーリヤ あの子は一體どこにゐるえ？

ノーラ 今週今一度船が出るかどうか見に行つたのよ。もうぢきに歸つてくるでせう。綠岬ぢや潮が變つて來て、漁師船が上手廻しをして歸つて來るから。

カスリーン 誰か大石のところを歩いてるやうぢやないか。

ノーラ (外を覗いて) あゝ歸つて来たよ、いそいでゐるね。

バートリー (入つて来て室内を見廻す。悲しさうに靜かに話しながら) カスリーンやあのコネマーラで買つて来た新しい繩はどこにあるか？

カスリーン (下りて来て) ノーラ、兄さんにそれをやつとくれ。白い板の傍の釘にかゝつてるから。今朝かけといたのだよ、脚の黒い豚が嚙つてたから。

ノーラ (繩を渡して) これかい、バートリー？

モーリヤ バートリーや、その繩を元のまゝに板の傍へかけておきな。(ベルト繩を取る)。もしマイケルが明日の朝か、明後日の朝か、それとも今週中の何日かに、波で打ちあけられたら、吃度要るから。どうかあれにや深い墓穴を掘つてやりたいのだからのう。

バートリー (繩を手てより始めながら) あの牝馬に乗つて行く手綱がないんだ。それに今すぐ行かなくちやならないんだから。この舟は二週間か、それ以上

にたつた一遍しか出ない舟だし、濱で話を聞けば今度の市はいゝ馬市だらうといふのだから。

モーリヤ だけでももしか死骸が打ちあけられた時内に誰も棺を拵へる男手がなかつたら、村の衆の悪口の種になるだらう。それにかうして高い値を拂つてコネマーラ一等の見事な白い板を買つたんだからの。

(板を眺めわたす。)

バートリー どうして死骸が打ちあけるものか、おれたちや九日間も探してるぢやないか、それにさつきから強い風が西南から吹いてるんだもの？

モーリヤ もしマイケルが見つからないにしろ、風で海が荒れてゐるし、それにゆんべ、お月さんの向ふに不氣味な星が見えたからの。たとへ百疋の馬を持つてゐたにしろ、たつた一人しかない息子に較べりや千疋の馬の代物しろものに何にもならんぢやないかのう？

バートリー (手綱をよりながら、カスリーンに向ひ) お前毎日行つてな、羊が麥畑

の中に飛び込まないやうに見てくんよ。それから仲買が来て値がよかつたら、脚の黒い豚を賣つてもいゝぜ。

モーリヤ どうしてあんな子なんぞに豚の値をよく賣ることが出来るもんかよ。

パートリー (カスリーンに) 月が虧けて暗くなるまで西風がつゞくなら、お前とノーラでもう一山海藻を積みあけておくれ。灰を作らにやならんから。働く方はたつた男一人しかゐるのだから、今日からはお互に苦勞しなくちやならんよ。

モーリヤ お前迄が他の者と一緒に水に溺れてしまつた日にや、それこそほんとに私たちがつらい思ひをしなくちやならないよ。どうやつてこの先暮して行けるだらう、娘等はゐるし、わしはいつどうなるか知れない體なのに？

(パートリー手綱を下に置き、古びた上衣を脱ぎ、同じフランネルで新しいのを着る。)

パートリー (ノーラに) 船は埠頭へ来てゐるかい？

ノーラ (外を見ながら) 今縁岬を通つて帆を下してるよ。

パートリー (財布と烟草を取つて) 濱へ行くにや三十分かゝる、二月か三月で直ぐ歸つてくるよ。もし風がいけなかつたら、ひよつとして四日目になるかもしれないが。

モーリヤ (火の方に向つて、頭から肩掛を被りながら) これほど海へ行つちやならんと止めるのに、老女のいふことを一言も聞き入れないなんて随分強情な一國な兒ぢやないか。

カスリーン 海へ行くなあ若い者の役目だもの、老女が一つことを何遍も言つてたつて誰が聞くものでさあ。

パートリー (手綱を取りなげ) さあ、大急ぎで行かなくちやならん。赤い牝馬に乗つて、青い仔馬を後に引ばつて行かう……ぢや左様なら。

(出て行く)

モーリヤ (息子がまだ戸口にゐるうちに泣き出しながら) もう行つてしまつた。どうしよう、もう二度とあの子には逢へないだらう。もう行つてしまつた。今夜暗くなる時分には、もうわしはこの世に一人の息子もなくなるのだ。

カスリーン 兄さんが戸口で振向いてたのに、何故御機嫌よう、といつてやらなかつたんですの？ それでなくつてさへ家中うちうちの者は皆悲しいことばかりぢやありませんか。出て行く者にあんな縁起でもないことをいつたり、ひどいことを聞かせなくてもいゝぢやないかね。

(モーリヤは火箸をとつて振向きもせずあてどもなく火をかき廻し始める。)

ノーラ (母の方に向いて) お母さん、お菓子の火をとつちまふのね。

カスリーン (叫び出しながら) どうしよう。ノーラ、兄さんにパンを持たせてやるのをすつかり忘れちやつた。

(爐の傍へ来る)

ノーラ 暗くなるまで旅をしてゐたら、兄さんはどんなにひまじ餓いかしれやしない

よ。それに今日は朝から何にも食べやしないんだから。

カスリーン (窓から菓子を出しながら) そりや、きつと饑せうじからうとも、老女おぢやうがのべつにしやべつてると、家の中ぢゆうの者が皆ほんやりしてしまふね。

(モーリヤ壺の上で身體をゆすぶる)

カスリーン (メンを少し切り取つて布に包みながら、母に向つて) さあお母さん、あの沸ふき井戸のところまで行つて、兄さんが通る時にこれを渡しておやんなさい。今度逢へばさつきの嫌な言葉も消えて、「達者でおいで」といつてやりなさい。バートリーも安心して行けるでせうから。

モーリヤ (メンを取りながら) あれが着くまでに間に合ふだらうかの？

カスリーン 今すぐ急いで行けば。

モーリヤ (足許も重げに立ち上り) わしは歩くのも難儀での。

カスリーン (心配さうに母を見ながら) ノーラ、お母さんに杖をおあけ、大石の所で滑りなされるかもしれないから。

ノーラ どの杖？

カスリーン マイケルがコネマールから買つて来たのさ。

モーリヤ (ノーラが渡す杖を受取りながら) 余所の國ぢや老人が先に死んで子供らに形見を残して行くのだけれど、こゝぢや、若い者が先き立つて老人共に形見を残して行くのぢやのう。

(モーリヤはそろ／＼出て行く)

(ノーラ梯子の方へ行く)

カスリーン 御待ちよ、ノーラ、ひよつとしたらお母さんがすぐ歸つて来るかもしれないから。かはいさうに、あんなにひどく滅入つてるんだから、何をしでかすか分りやしない。

ノーラ もう籤のところを廻つて行つて？

カスリーン (外を見ながら) もう行つてしまつたよ。早くそれを降しておくれ。いつまた籤のところを出るかもしれんから。

ノーラ (屋根裏から包を出しながら) 若い坊さんは明日こゝを通るといひなすつたから、ほんとにこれがマイケル兄さんの所有なら、わたしたちは行つて坊さんにさう言はう。

カスリーン (包を取りながら) どうして見つかつたか坊さんはお話しなすつたかい？

ノーラ (下りて来て) 男の人が二人で鶏も鳴かない夜中に密造酒ないしよほを舟に載せて漕いでゐたのだとさ、すると一人の櫓うに死骸がかゝつたんだつて、丁度その人たちや此の海岸の黒い崖の傍を通つてゐたんださうだよ。

カスリーン (包を開けようとしながら) ナイフをお呉れ、ノーラ、潮水で紐がひどくなつてゐて、からんだ結び目が容易に解けさうにないから。

ノーラ (ナイフを渡しながら) ドネゴールまでは随分遠いんだつてね。

カスリーン (糸を切りながら) 遠いとも。此の間こゝへ来た人が——このナイフを賣つた男さ——その男の話ぢや、向ふの岩の所から歩き始めると、七日か

ゝらなきやドネゴールに着けないつて。

ノーラ 死體が浮いて行けばどの位かゝるの？

(カスリーン包を開き、靴足袋を片づけ取り出す。二人はしげくとそれを見る)

カスリーン (低い聲で) まあどうしよう、ノーラ！、これがほんとにマイケル兄さんの物かどうか言ひ切ることは随分辛い話ぢやないか？

ノーラ 釘にかゝつてるシャツを外して来て、二つのフランネルを重ねて比べて見よう(隅にかゝつてる衣物の間を探す)。姉さん、こゝにはないよ、どこへ行つたかしら？

カスリーン 今朝バートリーが着てしまつたかもしれないよ。シャツが潮でビツシヨリだつたから(隅の方を指しながら)そこに同じ地でこしらへた袖があるよ。それでいゝから貸しておくれ。

(ノーラそれを姉の所へ持つて来る。二人は地質を比べて見る。)

カスリーン 同じ地だね。ノーラ。然しそれ丈ならゴールウェイの店には同じ

ものは澤山あるぢやないの、澤山の人の中にはマイケルと同じシャツを持つてゐるかもしれないよ。

ノーラ (靴下を取りあげて、編目を数へてゐたが、泣き出して)マイケルのだよ、姉さん、マイケルのだよ。まあかはいさうに、お母さんが聞いたらどうでせうバートリーは海へ出てゐるのに？

カスリーン (靴下を取りながら)飾なしの靴下だね。

ノーラ こりや私が編んだ三足の中の二番目で、私は目を六十にして、四つ丈縫はなかつたのよ。

カスリーン (編目を算へる)ほんとにさうね(泣き出して)。あ、あ、ノーラ、マイケル兄さんが遠い遠い北の方まで流されて行つて、海の上を飛んでゐる黒い海婆さんより外には誰一人兄さんのために泣いてくれる人もないとは、情ないぢやないの？

ノーラ (體を半分ゆすり廻して、服の上に兩腕を投げ出して)あんなに漕ぐことが遠

者で漁も上手であつた人が、こんな古シャツ一枚と靴下丈になつてしまふとは情ないことだわね？

カスリーン (暫くして) ノーラ、お母さんが歸つて來ましたか？ 路の方で小さな足音が聞えるぢやないか。

ノーラ (外を見ながら) 歸つて來たよ、カスリーン。戸口へ來るわ。

カスリーン お母さんが入つて來ない内にこれを片づけておくれ。バートリーに訣れの言葉をいつたので少しは気分が落附いてゐるかも知れないから。バートリーが海にゐる内は、一向何も聞かなかつたやうにしてゐようね。

ノーラ (カスリーンに手傳つて包をしまひながら) この隅へ隠しておかうね。
(二人は煙突の隅の穴の中に隠す。カスリーンは絲車の傍に戻る。)

ノーラ 私が泣いてたのがお母さんに知れるでせうか？

カスリーン 陽が射さないやうに戸口へ背を向けて御出でよ。

ノーラは戸口に背を向けて煙突の隅に坐る。モーリヤはごくそつと入つて來て、娘

たちに目もくれず、爐の向ふ側にある自分の腰掛へ行く。メンを包んだ布はまだ手に持つてゐる。娘たちは互に顔を見合はせる。ノーラはメンの包を指す。

カスリーン (暫く絲車を廻してから) 兄さんにパンをやらなかつたの？

(モーリヤは振り向きもせず、靜に葬ひの唄を歌ひはじめ)

カスリーン バートリーが馬に乗つて行くのに逢ひなすつて？

(モーリヤ葬ひの唄をつづける)

カスリーン (少し疝癢らしく) ほんとに、しょうがないのね。大きな聲を出して見て來たことでも話したらいぢやないの、濟んだことを歎いたつて仕方がないわ？ バートリーにほんとうに遇ひなすつたの？

モーリヤ (弱々しい聲で) わしはもう生きてゐる甲斐がなくなつたのだよ。

カスリーン (前通りに) バートリーに逢ひなすつて？

モーリヤ わしはほんとに怖いものを見て來た。

カスリーン (絲車を離れて外を見る) ほんとに、しょうがないのね。バートリ

―は今馬に乗つて緑岬のところを通つてゐるわ、青い仔馬を後に連れて。

モーリヤ (びびくりして立ち上る、そのはずみに肩掛が頭から落ちて、バラ／＼の白髪が現はれる。怯えた聲で) 青い仔馬を後に連れて……………

カスリーン (爐の傍へ寄つて) いつたい、どうしたんです？

モーリヤ (こくのろ／＼話しながら) わしはほんとに怖いものを見たんだよ。昔ブライド・ダーラが子供を抱いてゐる死人に逢つたといふ話以來、あんな怖い物を見た人はあるまい。

カスリーンとノーラ まあ！

(二人は爐の傍にくる老婆の前に蹲む)

ノーラ ぢや見たことを話して下さい。

モーリヤ わしは噴き井戸の所へ行つて、一人でお祈りをし乍ら立つてゐたのだよ。するとバートリーが赤駒に乗つて、青い仔馬を後に連れてやつて來た。

(両手をあげて眼から何かを遮ぎらうとする) まあ怖ろしかったよ、ノーラ！

カスリーン 何を見なされた？

モーリヤ マイケルを見たんだよ。

カスリーン

(靜かに話しながら) お母さん、そんなことはありませんよ。あなた

の御覽になつたのはマイケル兄さんぢやありません。兄さんの死骸は遠い北の方で見つかりました。有難いことにや立派に埋葬式おさむらひがすんだのです。

モーリヤ (少しく反抗氣味で) 今日たつた今あの子が馬に乗つてトットと駆けつて行くのに逢つた許りだ。バートリーが赤い牝馬に乗つて先きに來たから、『無事に行つて來な』と言はうとしたが、咽喉がつかへて物が言へなかつた。バートリーは急いで通り過ぎて、『御機嫌よう』といつてくれたが、わしは何も言へなかつた。その時、わしは泣きながら顔をあげて青い仔馬を見ると、マイケルが乗つてゐるんだ――立派な着物を着て、新しい靴を穿いて。

カスリーン (泣き始める) 今日でおしまひだ、ほんとにおしまひだ。

ノーラ 神さんは息子をみんな奪つてお母さんを困るやうになさる筈はないつ

て、若い坊さんは言つたぢやないの？

モーリヤ (低い、はつきりした聲で) あの坊さんなどに海のこと分るものか……バートリーは今頃はもう死んでる。イーモンを呼んで来て、白い板でわしに立派な棺をこしらへて貰つておくれ。みんなに先立たれてわしも長くは生きまい。わしにや連合つれあひもゐたし、舅しゅうごもゐたし、子供も六人あつた——六人とも立派な男の子だつた、その子が生れるときにも苦しい産をしてやつと世の中へ出したが——六人の内ぢや死骸の見つかつたものもあるし、見つからなかつたものもあるが、今ぢやもう皆死んでしまつた。……ステイーヴンとシヨーンは大嵐の時に死んで、後になつてゴールドン・マウスのグレゴリー灣で死骸が見つかつた。そこで一枚の戸板へ二人をのせてあの戸口から昇あがぎ込んだのぢや。

(モーリヤは暫く話を止める。娘たちは後に半ば明いてゐる戸口から何か物音が聞えたかのやうに驚いて起つ)

ノーラ (さゝやき聲で) カスリーン、あれが聞えて、東北の方で騒ぎ聲がするのが？

カスリーン (さゝやき聲で) 誰か濱の方で呼んでゐる。

モーリヤ (何も耳に入れずに話し続ける) それからシエイマスとお父つあんと、そのお父つあんまでも眞暗闇の中に行方が分らなくなつて、夜が明けても杖一本も片身一つも見つからなかつた。それからバツチは小舟がひつくり返つて死んでしまつた。わしはこゝでバートリーを抱いて坐つてゐた。あれはまだ赤ん坊で、わしの膝の上につてゐた。すると女の人が二人、三人、四人入つて来て、一言も言はないでみんな十字を切つた。そこで外を覗いてみると、男の人たちが續いてやつて来て、赤い帆布を半分にした中に何か包んだものを昇いで来たが、水がその中から垂れてゐる——お天気だつたよ、ノーラ——入口まで水の跡がついたのぢや。

(モーリヤは手を戸口の方へ差し伸べて話すのを止める。戸がそつと聞いて年寄の

女たちが入つて来る。彼等は園の上で十字を切つて、赤いメテイコートに冠つたまゝ舞臺の前面に蹲く。

モーリヤ (半ば夢見心地で、カスリーンに向ひ) バツチかい、マイケルかい、それとも一體誰だい？

カスリーン マイケル兄さんは遠い北の海で見つかつたんです。そんなところで見つかつた人がこゝに来る筈はないわ。

モーリヤ 若い者で海で死んで漂ふて居る者は澤山あるだらう。それに引上げた男がマイケルだか、マイケルに似た人だがどうして分るものか。九日も海に浸つてゐて嵐が吹いてちや、實の母でも見わけることはむづかしいぢやないか。

カスリーン まあかはいさうに、マイケル兄さんです、遠い北の方から兄さんの着物の片を送つて来たのよ。

(娘は手を伸ばしてモーリヤとマイケルの衣物を渡す。モーリヤは靜かに立ち上つ

て兩手でそれを取る。ノーラは外を見る。)

ノーラ みんなが何か擔いで来るよ、それから、雫が垂れて大石のあたりまで跡がついてるわ。

カスリーン (入つて来た女達さゝやき聲で) バートリーなの？

女達の一人 さうです、かはいさうにな。

(二人の程若い女が入つて来てテーブルを引き出す、その時男たちはバートリーの死骸を板に載せ、上に帆布をかけたまゝ運んで来て、卓の上に置く。)

カスリーン (みんながさうしてゐる時に、女たちに向ひ) どうして水に溺つたんだい？

女達の一人 青い仔馬がバートリーさんを海へ蹴落したんです。そしてあの大きな波が打つてる白岩の上へ打ち上げられたんでさあ。

(モーリヤは行つてテーブルの頭の方に跪く。女たちは靜かに泣きながらそつと鼻をゆすぶつてゐる。カスリーンとノーラはテーブルの向ふ側に跪く。男たちは戸口

の近くに跪く。

モーリヤ (頭をあげて周囲にゐる人々も目に入らぬやうにいふ) もうこれでみんな死んでしまつた。海はこの上わしにや何もすまい……風が南から吹いて来て東に大浪が聞え、西に大波が聞えて、二つの波が打ち合ふて物凄い音を立てようと、わしは夜中起きて泣いたり祈つたりせずともいふのぢや。霜月祭サレーグインの後の暗い晩に出て行つて聖水おみづを取つて来ずともいふのだ。他の女衆が泣いてゐる時でも、海が荒れてゐるかどうか氣にかけることはなくなつた。(ノーラに向ひ) ノーラ、聖水おみづをおくれ、まだ戸棚に少し残つてる筈だよ。

(ノーラ聖水を母に渡す)

モーリヤ (マイケルの衣服をバートリーの足の上にかけて、聖水おみづを死體の上に振りかける) バートリーよ、わしはお前のために、神様に祈つてやらなかつた譯ぢやないよ。暗い晩などは自分の言つてることが分らなくなるまでお祈をしてやつたんだよ。だがわしはこれから休まれる。確かにもうゆつくりしてもいふ

時分ぢや。これからわしはゆつくり休むよ。霜月祭サレーグインの夜もゆつくりと眠られよう。これからは悪いパンの粉と、腐りかけた魚としか食べられないにしても。

(モーリヤは十字を切りながら再び跪き、口の中で祈つてゐる。)

カスリーン (年とつた男に向ひ) あんたとイーモンさんで朝になつたら棺をこしらへて下さい。かはいさうに、マイケルの死骸が見つかると思つてお母さんが買つといた上等の白い板がありますよ。それにお前さん達が仕事をしながら食べられるやうに、焼き立てのお菓子もありますよ。

老人 (板を見ながら) 釘もついてるかい？

カスリーン ないわ、コラムさん、釘までは考へなかつたのよ。

他の男 お婆さんは釘を忘れたとはよつほど不思議だなあ、今迄棺を持へる所を随分見てゐたくせに。

カスリーン もう年をとつて、まうろくしてゐるんだからね。

(モーリヤ再びこくゆつくり起ち上り、マイケルの着物を死體の傍に擴げ、それに

残りの聖水を振りかける。

ノーラ (カスリーンにさゝやく) もうお母さんは落着いて静まつてゐるのね。でもマイケル兄さんが死んだ時にや、お母さんの泣き聲がこゝから噴き井戸の所まで聞えた位だわ。お母さんはマイケル兄さんの方が好きだったのに、今日はこんなにしてゐるとはほんとに不思議ぢやないかね。

カスリーン (ゆつくりとしかもはつきりと) 老女といふものはどんなことにもすぐ飽きてしまふだよ。お母さんは家の中で泣いたり葬ひの歌を唄つたり、歎き悲んだりしてから、もう九日になるぢやないの？

モーリヤ (空になつたコップをテーブルの上に伏せて置き、バートリーの足に両手を載せながら) これでみんなが一緒になつた。いよいよお終になつてしまつた。どうぞ神様、バートリーの靈も、マイケルの靈も、シエイマス、バツチ、ステイヴン、シヨウンの靈にも御恵みをかけて下さい。(頭を下げ) それから私の靈の上にも、ノーラや、その他この世に生き残つてゐる皆の衆の魂の上に御

慈悲をかけて下さい。

(彼女の言葉がとぎれる。葬ひの歌が女たちの中からやゝ高調子で聞えて、やがて低くなる)

モーリヤ (言葉をつゞけながら) マイケルは遠い北の海で、神様のお恵みで立派な埋葬をすまして貰つた。バートリーはあれも白い板で立派な棺をこしらへて、ぜひ深い墓に埋めてやろう。これが出来れば勿體ない位ぢやないか？ 誰だつていつまでも生きてゐられるものぢやないし、あきらめをつけることが肝心だ。

(彼女は再び跪き、暮が静かに降りる。)

— 禁無斷通行 —

海へ乗り行く者 (終)



J. M. Synge

RIDERS TO THE SEA

(one act play)

BY

JOHN MILLINGTON SYNGE

*WITH JAPANESE VERSION
AND NOTES*

BY

MASAO HATAYA



TOKYO
KEMBUNSHA



RIDERS TO THE SEA

PERSONS :—

MAURIA (*an old woman*)

BARTLEY (*her son*)

CATHLEEN (*her daughter*)

NORA (*a younger daughter*)

MEN AND WOMEN.

SCENE. — *An Island off the West of Ireland.*

(Cottage kitchen, with nets, oil-skins, spinning-wheel, some new boards standing by the wall, etc. Cathleen, a girl of about twenty, finishes kneading cake, and puts it down in the pot-oven by the fire; then wipers her hands, and begins to spin at the wheel. Nora, a young girl, puts her head in at the door.)

oil-skins. 油布の合羽。

cake. 菓子パン。 pot-oven. 窯。

30.
1900
5
5/11/11
5/11/11

NORA (in a low voice). Where is she?

CATHLEEN. She's lying down, God help her, and maybe sleeping, if she's able.

(*Nora comes in softly, and takes a bundle from under her shawl.*)

CATHLEEN. (spinning the wheel rapidly).
What is it you have?

NORA. The young priest is after bringing them. It's a shirt and a plain stocking were got off a drowned man in Donegal.

1. she = Maurya のこと。
2. God help her. 感嘆の意を表す。
3. if she's able. もしかすると。
4. is after bringing = has brought. この用法は Synge の劇にも屢々現はれてゐる。これは Galic の idiom をその儘引き移したものである。Galic では He has just written といふ所を "He has just writing" といふのである。夫故 Irish-English で "be after...ing" は英語の "have + past participle" で譯せばよい。即ち動詞の present perfect に相當するものであるが無論此 "after" は時の前置詞で「何々した後」といふ意味である。(市河三喜著 英文法研究)
5. It's a shirt.....Donegal. 英文法研究参照。
plain stocking (which) "plain" は飾のない、模様のないの意。絹の靴下に對して飾のない普通の靴下。
6. Donegal [doni'go:l] Ireland の西北部にある風光明媚ではあるが荒涼たる地方。Aran Islands から北に百哩離れてゐる。

(*Cathleen stops her wheel with a sudden movement, and leans out to listen.*)

NORA. We're to find out if it's Michael's they are, some time herself will be down looking by the sea.

CATHLEEN. How would they be Michael's, Nora? How would he go the length of that way to the far north?

NORA. The young priest says he's known the like of it. "If it's Michael's they are," says he, "you can tell herself he's got a clean burial, by the grace of God; and if they're not his, let no one say a word about them, for she'll be getting her death," says he, "with

3. Michael ['maikl]
4. some time = when.
7. go the length of = go so far as.
10. the like of it. そんなこと。そういつた風の事件。即ち此島の住民の溺死體が遙か遠い北の Donegal まで漂流したこと。(The Aran Islands. 参照)
11. you. Nora のこと。
he's = he has. he は Michael のこと。
a clean burial. a decent burial の意。後にも出る。
14. getting her death = dying. "be getting" の用法に注意。

crying and lamenting.”

(The door which Nora half closed is blown open by a gust of wind.)

CATHLEEN. (looking out anxiously.) Did you ask him would he stop Bartley going this day with the horses to the Galway fair?

NORA. “I won't stop him,” says he, “but let you not be afraid. Herself does be saying prayers half through the night, and the Almighty God won't leave her destitute,” says he, “with no son living.”

3. a gust of wind. 一陣の風。
5. Did you ask him would he = Did you ask him whether. Irish-English では subordinate clause を interrogative form にして其儘主文章に附ける。
would he. him及び he は priest のこと。
6. Galway fair. Galway は Aran Islands の東方。Co. Galway の海岸の町の名。fair はこゝでは馬の市のこと。
8. let you not be afraid. 併し心配なさるな。“let” の用法に注意。
Herself. your mother の意。“Herself” を “Mistress of house” の義に用ふ。
9. prayer. 祈りの時は [pri] で、祈る人は [prê] なることに注意せよ。

CATELEEN. Is the sea bad by the white rocks, Nora?

NORA. Middling bad, God help us. There's a great roaring in the west, and it's worse it'll be getting when the tide's turned to the wind. (She goes over to the table with the bundle). Shall I open it now?

CATHLEEN. Maybe she'd wake up on us, and come in before we'd done (coming to the table). It's a long time we'll be, and the two of us crying.

NORA. (Goes to the inner door and listens.) She's moving about on the bed. She'll be coming in a minute.

CATHLEEN. Give me the ladder, and

1. by this white rocks. 白岩の近邊。
3. Middling bad = fairly bad. かなり荒れてゐる。
“middling = moderately; pretty.”
4. it's worse it'll be getting “it is” は emphasize するときに用ゐる。
8. wake up on us. “on us” は事實(ここでは母が眼を覺ますこと)が吾々に迷惑、不利益な關係を及ぼす場合に屢

I'll put them up in the turf-loft, the way she won't know of them at all, and maybe when the tide turns she'll be going down to see would he be floating from the east.

5 (They put the ladder against the gable of the chimney; Cathleen goes up a few steps and hides the bundle in the turf-loft. Maurya comes from the inner room.)

MAURYA. (looking up at Cathleen and speaking querulously). Isn't it turf enough 10 you have for this day and evening?

CATHLEEN. There's a cake baking at the fire for a short space (throwing down the

々使ふ特殊の Irish expression である。

1. turf-loft = loft where turf is laid up. 泥炭(turf)を藏つておく屋根裏(loft)。泥炭(すくもの類)は Ireland の諸所に産し最も最普通使ふ燃料である。

I'll put them.....at all. ちつとも分らないやうに屋根裏へおけて置く。
the way = so that.

4. would he be = whether he could be.

9. Maurya ['mɔ:ɹjə] "Mary" に相當する Ireland の名。

10. enough you have. そんなに出さなくとも澤山だ。

13. a short space. 少しばかり。

turf); and Bartley will want it when the tide turns if he goes to Connemara.

(Nora picks up the turf and puts it round the pot-oven.)

MAURYA. (sitting down on a stool at the fire) 5 He won't go this day with the wind rising from the south and west. He won't go this day, for the young priest will stop him surely.

NORA. He'll not stop him, mother; and 10 I heard Eamon Simon and Stephen Pheety and Colum Shawn saying he would go.

MAURYA. Where is he itself?

NORA. He went down to see would there

2. Connemara [kɔni'mɪrə]. Co. Galway の一村で、 Aran Islands の北方。風光明媚な所として知られてゐる。

5. stool. 床机。

11. Eamon Simon ['i:mən 'sáimən]

Stephen Pheety ['sti:vən 'fi:ti]

12. Colum Shawn ['kɔləm 'ʃɔ:n]

13. itself = at all. emphatic use.

14. to see would there be..... = to see whether those would be..... 前頁を参照。

be another boat sailing in this week, and I'm thinking it won't be long till he's here now, for the tide's turning at the green head, and the hooker's tacking from the east.

5 *CATHLEEN.* I hear some one passing the big stones.

NORA. (*looking out*). He's coming now, and he in a hurry.

BARTLEY. (*comes in and looks round the*
10 *room. Speaking sadly and quietly.*) Where is the bit of new rope, Cathleen, was brought in Connemara?

CATHLEEN. (*coming down*). Give it to him, Nora; it's on a nail by the white

3. **green head.** 綠岬。Ireland には岬に Head と名づける所が多い。
4. **hooker**=one-masted fishing smack (C. O. D.) 單樁漁船。Aran 島で本島に家畜等を運ぶによく用ひられる。
tacking. 船首を風上に向けて廻轉することを tack といふ。
5. **the big stones.** 或る特別な大石を指したものの。
10. **where is.....in Connemara?** relative pronoun を用ひてをらぬことに注意。(英文法研究 p. 212 参照)
11. **was bought.** 前に which を補つて見る。

boards. I hung it up this morning, for the pig with the black feet was eating it.

NORA. (*giving him a rope*). Is that it, Bartley?

MAURYA. You'd do right to leave that
5 rope, Bartley, hanging by the boards (*Bartley takes the rope*). It will be wanting in this place, I'm telling you, if Michael is washed up to-morrow morning, or the next morning,
10 or any morning in the week; for it's a deep grave we'll make him, by the grace of God.

BARTLEY. (*beginning to work with the rope*). I've no halter the way I can ride down on the mare, and I must go now quickly. This is the one boat going for two
15

2. **black feet.** 足の毛色の黒い。
5. **to leave that rope.** hanging にかゝる。
7. **It will be wanting in this place.** ここで要るよ。
8. **I'm telling you**=I assure you. 吃度。
13. **the way**=so that.
15. **one boat going for two week or beyond it.** 二週間かそれとも以上たつた一度しか出ない船。"one"=only.

weeks or beyond it, and the fair will be a good fair for horses, I heard them saying below.

MAURYA. It's a hard thing they'll be saying below if the body is washed up and there's no man in it to make the coffin, and I after giving a big price for the finest white boards you'd find in Connemara.

(*She looks round at the boards.*)

BARTLEY. How would it be washed up and we after looking each day for nine days, and a strong wind blowing a while back from the west and south?

MAURYA. If it isn't found itself, that

3. below. 濱邊の意。
6. no man in it. "in it" も here とか there とか單に存在を現す意味に添へる。
7. I. was を次に補つて見る。
11. and we after looking ...for. 探して見たのに。
13. a while look = a while ago. さつきから。"back" = since; ago の意。よく用ゐられる語法。
14. if it isn't found itself = even though the body is not found. 死骸が見つからないにしても。

wind is raising the sea, and there was a star up against the moon, and it rising in the night. If it was a hundred horses or a thousand horses you had itself, what is the price of a thousand horses against a son where there is one son only?

BARTLEY (*working at the halter, to Cathleen*). Let you go down each day, and seen the sheep aren't jumping in on the rye, and if the jobber comes you can sell the pig with the black feet if there is good price going.

MAURYA. How would the like of her get a good price for a pig?

2. star. 星によつて吉凶を卜するのだ。こゝでは不吉の星。
3. a thousand horses you had itself. は "itself" "even if....." と同じ。
5. against. 比ぶればの意。
8. let you go down each day. 毎日町へ御出てよ。let の用法に注意。
13. the like of her. こんな娘。

BARTLEY (to Cathleen). If the west wind holds with the last bit of the moon let you and Nora get up weed enough for another cock for the kelp. It's hard set we'll be from this day with no one in it but one man to wark.

MAURYA. It's hard set we'll be surely the day you're drown'd with the rest. What

1. **if the west wind holds with the last bit of the moon.** 月の虧け果てる時迄西風が吹いてたら。[未開人の間では月の盈虧て時を定める標準として居る]
3. **get up weed enough for another cock for the kelp.** 海草を取つてあげてケルプ灰を作るためにもう一山作つてをいでくれ。“cock”=small conical heap.海草を焼いて(沃土の原料とする)ケルプ灰を作ることは Aran 島の住民の主なる仕事の一つである。
4. **It's hard set will be**=we shall be put in great difficulties. 随分と骨の折れることだらう。
5. **but**=except.
no one in it. 前を参照せよ。“in it”は何の意味もないたゞ存在を表す丈のもの。
7. **It's hard set.....the rest.** 御前までが外の者と同じやうに溺れた日には難儀するのは吾々だ。
8. **what way will I.....?** 娘等を相手にどうして生きてゆけよう。“what”=how.“Shall I”といふべきを“Will I”といふのは Irish-English では普通に見ることである。

way will I live and the girls with me, and I an old woman looking for the grave?

(*Bartley lays down the halter, takes off his old coat, and puts on a newer one of the same flannel.*)

BARTLEY. (to Nora). Is she coming to to the pier?

NORA. (looking out). She's passing the green head and letting fall her sails.

BARTLEY. (getting his purse and tobacco). I'll have half an hour to go down, and you'll see me coming again in two days, or in three days, or maybe in four days if the wind is bad.

MAURYA. (turning round to the fire, and putting her shawl over her head). Isn't it a hard and cruel man won't hear a word from

2. **looking for the grave.** 先きの短い。
6. **she**=the boat.
16. **Isn't it from the sea?** Relative pronoun のないのに注意。
17. **hard and cruel man(who).** 残酷無情な男。頑固一團な人

old woman, and she holding him from the sea?

CATHLEEN. It's the life of a young man to be going on the sea, and who would
5 listen to an old woman with one thing and she saying it over?

BARTLEY. (*taking the halter.*) I must go now quickly. I'll ride down on the red mare, and the gray pony 'll run behind me
10The blessing of God on you.

(*He goes out.*)

MAURYA. (*crying out as he is in the door.*) He's gone now, God spare us, and we'll not see him again. He's gone now, and when

1. and she holding = who holds, when she hold. "hold"はとめるの意。(これほど海に行つてはならんと止めるのに)
5. with one thing and she saying it over. 一つことを何遍も繰返していふ。
'll = shall.
10. The blessing of God on you. 左様なら(永久の訣れのやうにひしと)
12. God spare us. かまふな。

the black night is falling I'll have no son left me in the world.

CATHLEEN. Why wouldn't you give him your blessing and he looking round in the door? Isn't it sorrow enough is on every
5 one in this house without your sending him out with an unlucky word behind him, and a hard word in his ear?

(*Maurya takes up the tongs and begins raking the fire aimlessly without looking*
10 *round.*)

NORA. (*turning towards her.*) You're taking away the turf from the cake.

1. when the black night is falling. 日の暮れる頃。
4. and he looking round = when he looked round.
5. Isn't it sorrow enough is on every one = Isn't there sorrow enough on every one; hasn't every one sorrow enough. "sorrow enough" の次ぎには relative pronoun を入れてよむこと。
6. withoutのことがなくとも。
7. unlucky word. 縁起の悪いこと。
8. hard word. いやなこと。

CATHLEEN. (*cring out*). The Son of God
forgive us, Nora, we're after forgetting his
bit of bread.

(*She comes over to the fire*).

5 NORA. And it's destroyed he'll be going
till dark night, and he after eating nothing
since the sun went up.

CATHLEEN. (*turning the cake out of the
oven*). It's destroyed he'll be, surely. There's
10 no ~~sence~~ ^{sense} left on any person in a house
where an old woman will be taking for
ever.

(*Maurya sways herself on her stool*).

CATHLEEN. (*cutting off some of the bread
15 and rolling it in a cloth; to Maurya*). Let

1. The Son of God forgive us. 大變だ。あゝ濟まないことをした。
2. we're after forgetting = we have forgotten. (英文法 p. 207 参照)
5. it's destroyed he'll = he'll destroyed.
10. no sense. ぼんやりしてゐる。
15. Let you go down now to the spring well. さあ井戸の所へ行つて。“let”の用法に注意。

you go down now to the spring well and
give him this and he passing. You'll see him
then and the dark word will be broken,
and you can say “God speed you,” the way
he'll be easy in his mind. 5

MAURYA. (*taking the bread*). Will I be
in it as soon as himself?

CATHLEEN. If you go now quickly.

MAURYA. (*standing up unsteadily*). It's
hard set I am to work. 10

CATHLEEN. (*looking at her anxiously*). Give

1. spring well. 山や石の間から湧き出る湧き井戸。Irelandの諸所にある。
and give him this and he passing. あの人の通りがかりにこれを御渡しなさい。and he passing = at he passes; when he passes.
3. dark word. いやなことば。
4. God speed you. 早く無事で行つておいて。
the way = so that. (安心し行けるやうにバアトリの上に祝福をお與へなさい)
7. Will I be in it as soon as himself? あの子と同じにそこへ行けるかしら。“will I”は“shall I”が普通の英語。“in it” = there. 只存在を表す。
10. It's hard set I am to work. 歩くのも難儀だ。

her the stick, Nora, or maybe she'll slip on the big stones.

NORA. What stick?

CATHLEEN. The stick Michael brought
5 from Connemara.

MAURYA. (*taking a stick Nora gives her.*)
In the big world the old people do be
leaving things after them for their sons and
children, but in this place it is the young
10 men do be leaving things behind for them
that do be old.

(*She goes out slowly.*)

(*Nora goes over to the ladder.*)

CATHLEEN. Wait, Nora, maybe she'd

1. **in the big world.** アイルランド本國及び他の世界。

9. **in this place.** Aran島のこと。

the young men do be leaving things behind them that do be old. 若い者の方が老人よりも先に死んで形見を残して行く。“do be”は習慣を表す位の意味。“do”を伴へるこの形は殊に“be saying”“be doing”等の periphrastic form に附けて用ゐらるゝことが多い。(英文法研究)

turn back quickly. She's that sorry, God help her, you wouldn't know the thing she'd do.

NORA. Is she gone round by the bush?

CATHLEEN. (*looking out.*) She's gone now. 5
Throw it down quickly, for the Lord knows when she'll be out of it again.

NORA. (*getting the bundle from the loft.*)
The young priest said he'd be passing to-
morrow, and we might go down and speak 10
to him below if it's Michael's they are surely.

CATHLEEN. (*taking the bundle.*) Did he
15 say what way they were found?

NORA. (*coming down.*) “There were two
men,” says he, “and they rowing round 25
with poteen before the cocks crowed, the
oar of one of them caught the body, and

1. **that sorry** = so sorry. “that” = to that extent.

6. **Lord knows** = who knows?

13. **what way** = how.

16. **poteen.** Ireland の山間で密造する whisky. 密酒造のため未明に運搬する。

they passing the black cliffs of the north.”

CATHLEEN. (trying to open the bundle).

Give me a knife, Nora, the string's perished with the salt water, and there's a black knot on it you wouldn't loosen in a week.

NORA. (giving her a knife). I've heard tell it was a long way to Donegal.

CATHLEEN. (cutting the string). It is surely. There was a man in here a while ago —the man sold us that knife—and he said if you set off wading from the rocks beyond, it would be in seven days you'd be in Donegal.

1. and they passing = when they were passing.
- the black cliff. Donegal の切り立てたやうな絶壁。草も生えてゐない真黒な崖。
4. black knot = cursed knot.
6. I've heard = they say.
11. If you set off walking from the rocks beyond.
12. It would be in seven days you'd be in Donegal. 歩いて行けば向ふの岩から Donegal 迄七日かゝるだらう。 “you'd” = you would.

NORA. And what time would a man take, and he floating?

(*Cathleen* open the bundle and takes out a bit of a shirt and a stocking. They look at them eagerly).

CATHLEEN (in a low voice). The Lord spare us, Nora! isn't it a queer hard thing to say if it's his they are surely?

NORA. I'll get his shirt off the hook the way we can put the one flannel on the other. (she looks through some clothes hanging in the corner). It's not with them, Cathleen, and where will it be?

CATHLEEN. I'm thinking Bartley put it on him in the morning, for his own shirt was heavy with the salt in it. (pointing to the

2. and he floating = if he is floating floats). 死體が漂ひ行けば(幾日かゝるの)
6. Lord spare us. どうしよう。
7. queer hard thing. ほんとに辛い話だ。
9. the way = so that. (二つのフランネルを重ねて比べて見ることの出来るために)

corner). There's a bit a sleeve was of the same stuff. Give me that and it will do.

(Nora brings it to her and they compare the flannel).

5 CATHLEEN. It's the same stuff, Nora; but if it is itself aren't there great rolls of it in the shops of Galway, and isn't it many another man may have a spirit of it as well as Michael himself?

10 NORA. (who has taken up the stocking and counted the stitches, crying out). It's Michael; God spare his soul, and what will herself say when she hears this story, and Bartley on the sea?

15 CATHLEEN. (taking the stocking). It's plain stocking.

1. a bit of sleeve. 次に which を補ふ。
2. stuff. 質。材料。
it will do. それでよいから。
6. if it is itself = if it is so. それにしても。
13. and Bartley on the sea = when Bartley is on the sea.
16. plain stocking. 飾りない靴下。前出。

NORA. It's the second one of the third pair I knitted, and I put up three score stitches, and I dropped four of them.

CATHLEEN. (count the stitches). It's that number is in it (crying out). Ah, Nora, 5 isn't it a bitter thing to think of him floating that way to the far north, and no one to keen him but the black hags that do be flying on the sea?

NORA. (swinging herself half round, and 10 throwing out her arms on the clothes). And isn't it a pitiful thing when there is nothing left of a man who was a great rower and fisher, but a bit of an old shirt and a plain stocking?

3. dropped. 忘れた。縫はなかつた。落した。
4. It's that number is in it. 丁度それ丈の数がある。
6. bitter thing. たまらない。
8. keen. 葬ひの歌をうたつて人を悲しむ。keen とは泣きながら歌ふアイルランドの葬ひ歌。泣女を keener といふ。
black hags. fairy の類。海の鬼婆。
14. but = except. 残るは唯……ばかり。

CATHLEEN. (after an instant). Tell me is herself coming, Nora? I hear a little sound on the path.

NORA. (looking out). She is, Cathleen. She's
5 coming up to the door.

CATHLEEN. Put these things away before she'll come in. Maybe it's easier she'll be after giving her blessing to Bartley, and we won't let on we've heard anything the
10 time he's on the sea.

NORA. (helping Cathleen to close the bundle). We'll put them here in the corner.

(They put them in'o a hole in the chimney corner. Cathleen goes back to the spinning-
15 wheel.)

1. **Tell me is herself coming** = tell me whether mother is coming. 御母さんがやつて來ましたか。Irish-Englishの用法に注意せよ。
6. **put away.** 片附ける。
7. **easier** (in her mind) 氣が楽になつてゐる。
9. **let on** = pretend : say.
10. **the time** = when : during.

NORA. Will she see it was crying I was?

CATHLEEN. Keep your back to the door the way the light 'll not be on you.

(Nora sits down at the chimney corner, with her back to the door. Maurya comes in very
5 slowly, without looking at the girls, and goes over to her stool at the other side of the fire. The cloth with the bread is still in her hand. The girls look at each other, and Nora points to the bundle of bread).

CATHLEEN. (after spinning for a moment).
10 You didn't give him his bit of bread?

(Maurya begins to keen softly, without turning round).

CATHLEEN. Did you see him riding down?
(Maurya goes on keening).
15

1. **it was crying I was** = (that) I was crying. emphasize したものの。
3. **the way** = so that.
15. **goes on keening.** 歎きつゞける。

CATHLEEN. (a little impatiently). God forgive you; isn't it a better thing to raise your voice and tell what you seen, than to be making lamentation for a thing that's done? Did you see Bartly, I'm saying to you?

MAURYA. (with a weak voice). My heart's broken from this day.

CATHLEEN. (as before). Did you see Bartley?

MAURYA. I seen the fearfulest thing.

CATHLEEN. (leaves her wheel and looks out). God forgive you; he's riding the more now over green head, and the gray pony behind him.

1. God forgive you. あい。

3. seen = saw.

5. I'm saying to you. "Irish-English" では "to be" + present participle を單に progressive form にのみならず普通の present, past 等 English の simple form を用ふべき所に用ひてある。(英文法研究)

8. broken. broken heart の意。

11. fearfulest. emphatic use.

MAURYA. (starts, so that her shawl falls back from her head and shows her white tossed hair. With a frightened voice). The gray pony behind him.....

CATHLEEN (coming to the fire). What is it ails you, at all?

MAURYA. (speaking very slowly). I've seen the fearfulest thing any person has seen, since the day Bride Dara seen the dead man with the child in his arms.

CATHLEEN and *NORA.* Uah.

(They crouch down in front of the old women at the fire).

NORA. Tell us what is it you seen.

MAURYA. I went down to the spring well, and I stood here saying a prayer to myself. Then Bartley came along, and he

6. at all. 一體。

9. Bride Dara. アイルランドにある傳説であらう。
seen = saw.

riding on the red mare with the gray pony behind him (*she puts up her hands, as if to hide something from her eyes*). The Son of God spare us, Nora!

5 *CATHLEEN.* What is it you seen?

MAURYA. I seen Michael himself.

CATHLEEN. (*speaking softly*). You did not, mother; It wasn't Michael you seen, for his body is after being found in the far
10 north, and he's got a clean burial by the grace of God.

MAURYA. (*a little defiantly*). I'm after seeing him this day, and he riding and galloping. Bartley came first on the red mare;
15 and I tried to say "God speed you," but

1. and he riding. 普通の英語なら adjective phrase にする。

5. seen = saw.

12. defiantly. 反抗的に。

after seeing. 只今遇つた許りだ。

13. and he riding. "and" の用法に注意。普通の英語なら adjective phrase にする所。

15. God speed you. 御機嫌よう。

something choked the words in my throat. He went by quickly; and "the blessing of God on you," says he, and I could say nothing. I looked up then, and I crying, at the gray pony, there was Michael upon it—
5 with fine clothes on him, and new shoes on his feet.

CATHLEEN (*begins to keen*). It's destroyed we are from this day. It's destroyed, surely.
10

NORA. Didn't the young priest say the Almighty God won't leave her destitute with no son living?

MAURYA. (*in a low voice, but clearly*). It's little the like of him knows of the sea
15Bartley will be lost now, and let you call in Eamon and make me a good coffin out of the white boards, for I won't live

8. it's destroyed we are = we are ruined.

17. make me a good coffin = make a good coffin for me.

after them. I've had a husband, and a husband's father, and six sons in this house—six five men, though it was a hard birth I had with every one of them and they
 5 coming to the world—and some of them were found and some of them were not found, but they're gone now the lot of them There were Stephen, and Shawn, were lost in the great wind, and found after in the
 10 Bay of the Gregory of the Golden Mouth, and carried up the two of them on one plank, and in by that door.

(She pauses for a moment, the girls start as if they heard something through the door that
 15 is half open behind them).

1. husband's father. 夫の父親。男。
 4. and they coming to the world = when they were born.
 8. Shawn. John に相當するアイルランドの名。
 10. Bay of Gregory. Inishmaan と Arantmor の間。
 12. in = carried in.

NORA. (*in a whisper*). Did you hear that, Cathleen? Did you hear a noise in the north-east?

CATHLEEN. (*in a whisper*). There's some after crying out by the seashore. 5

MAURYA. (*continues without hearing anything*). There was Sheamus and his father, and his own father again, were lost in a dark night, and not a stick or sign was seen of them when the sun went up. There
 10 was Patch after was drowned out of a curagh that turned over. I was here with Bartley, and he a baby, lying on my two knees, and I seen two women, and four

4. some one after crying out = some one who has carried out.
 7. Sheamus ['Seimes] James に相當するアイルランドの名。
 8. were lost. 前に who を補ふて見る。
 11. after = afterward.
 12. curagh ['karə] 土人の乗用する小舟で、木の骨組に牛皮若くは麻布を混つて拵へた軽い舟。
 turned over. 轉覆した。

women coming in, and they crossing themselves, and not saying a word. I looked out then, and there were men coming after them, and they holding a thing in the half
5 of a red sail, and water dripping out of it—it was a dry day, Nora—and leaving a track to the door.

*(She pauses again with her hand stretched out towards the door. It opens softly and old
10 woman begins to come in, crossing themselves on the threshold, and kneening down in front of the stage with red petticoats over their head.)*

MAURYA. (half in a dream, to Cath'een).
Is it Patch, or Michael, or what is it at all?

15 CATHTEEN. Michael is after being found in the far north, and when he is found there how could he be here in this place?

1. *crossing themselves.* 十字を切る。

6. *dry day* = fine day.

12. *petticoats.* 下袴。

MAURYA. There does be a power of young men floating round in the sea, and what way would they know if it was Michael they had, or another man like him, for when
5 a man is nine days in the sea, and the wind
5 blowing, it's hard set his own another would be to say what man was in it.

CATHLEEN. It's Michael, God spare him, for they're after sending us a bit of his
10 clothes from the far north.

(She reaches out and hands Maurya the clothes that belonged to Michael. Maurya stand up slowly, and takes them in her hands. Nora looks out.

NORA. They're carrying a thing among
15 them and there's water dripping out of it and leaving a track by the big stones.

1. *does be....* "do" の用法は前にある。

a power of = a great number of.

3. *what way would they know* = how could they know.

6. *hard set.* = it is very difficult.

CATHLEEN. (*in a whisepr to the women who have come in*). Is it, Bartley it is?

ONE OF THE WOMAN. It is surely, God rest his soul.

5 (*Two young women come in and pull out the table. Then men carry in the body of Bartley, laid on a plank, with a bit of a sail over it, and lay it on the table*).

CATHLEEN. (*to the women, as they are*
10 *doing so*). What way was he drowned?

ONE OF THE WOMEN. The gray pony knocked him over into the sea, and he was washed out where there is a great surf on the white rocks.

5 (*Maurya has gone over and knelt down at the head of the table. The woman are keen-
ing softly and swaying themselves with a slow movement. Cathleen and Nora kneel at the other end of the table. The men kneel near the*

6. *body.* 死骸。

13. *great surf.* 大波。

door).

MAURYA. (*raising her head and speaking as if she did not see the people around her*). They're all gone now, and there isn't any-
thing more the sea can do to me..... I'll 5
have no call now to be up crying and pray-
ing when the wind breaks from the south,
and you can hear the surf is in the west,
making a great stir with the two noises,
and they hitting one on the other. I'll have 10
no call now to be going down and getting
Holy Water in the dark nights after
Samhain, and I won't care what way the
sea is when the other women will be knee-
ing. (*To Nora*). Give me the Holy Water, 15

5. *I'll have no call*=it will not be necessary for me.

7. *breaks.* 俄に吹く。

8. *surf (which) is* を補ふ。

12. *Holy Water.* 聖水。岩間より湧き出る水で、萬病の薬になるといふ。

13. *Samhain* ['Savin] 十一月一日の All Saints, Day に相當する祭。發音に注意。

14. *keeling.* 前にあり。

Nora, there's a small sup still on the dresser.

(Nora gives it to her).

MAURYA. (drop Michael's clothes across
Bartley's feet, and sprinkles the Holy Water
5 over him). It isn't that I haven't prayed
for you, Bartley, to the Almighty God. It
isn't it that I haven't said prayers in the
dark night till you wouldn't know what
I'd be saying; but it's a great rest I'll
10 have now, and great sleeping in the long
night after Samhain, if it's only a bit of
wet flour we do have to eat, and maybe a
fish that would be stinking.

(She kneels down again, crossing herself, and
15 saying prayers under her breath).

1. dresser = kitchen side-board with shelves for dishes etc.
(C. O. D.) 戸棚。

12. wet flour. 悪い夢の粉。
if = even if; though.

13. stinking. くさつたもの。

15. under her breath. 小聲で。

CATHLEEN. (to an old man). Maybe your
self and Famon would make a coffin when
the sun rises. We have fine white boards
herself bought, God help her, thinking
Michael would be found, and I have a new 5
cake you can eat while you'll be working.

THE OLD MAN. (looking at the boards). Are
there nails with them?

CATHLEEN. There are not, Colum; we
didn't think of the nails. 10

ANOTHER MAN. It's a great wonder she
wouldn't think of the nails, and all the
coffins she's seen made already.

CATHLEEN. It's getting old she is, and
broken. 15

(Maurya stands up again very slowly and
spreads out pieces of Michael's clothes beside
the body, sprinkling them with the last of the
Holy Water).

3. fine white boards. which を次に補ふ。

14. it's getting old she is = she is getting old.

NORA. (in a whisper to Cathleen). She's quiet now and easy; but the day Michael was drowned you could hear her crying out from this to the spring well. It's fonder she was of Michael, and would any one have thought that?

CATHLEEN. (s'owly and clearly). An old woman will be soon tired with anything she will do, and isn't it nine days herself is after crying and keening, and making great sorrow in the house?

MAURYA. (puts the empty cup mouth downwards on the table, and lays her hands together Bartley's feet). They're all together this time, and the end is come. May the Alimighty God have mercy on Bartley's

4. this = this place.

It's fonder she was of Michael. バアトリーよりもマイケルが好きだつたらう。

5. would any one have thought that? 案外だ位の意。

soul, and on Michael's soul, and on the souls of Sheamus and Patch, and Stephen and Shawn (*bending her head*); and may He have mercy on my soul, Nora, and on the soul of every one is left living in the world.

(*She pauses, and the keen rises a little more loudly from the women, then sinks away.*)

MAURYA. (continuing). Michael has a clean burial in the far north, by the grace of the Almighty God. Bartley will have a fine coffin (out of) the white boards, and a deep grave surely. What more can we want than that? No man at all can be living for ever, and we must be satisfied.

(*She kneels down again and the curtain falls slowly.*)

—THE END—

5. every one. 次に who を補ふ。



海へ乗り行く者

大正十五年一月十日印刷
大正十五年一月十五日發行

著者 幡谷正雄

發行者 東京市神田區表神保町一番地
鮎貝秀三郎

印刷者 東京市本郷區眞砂町三十六番地
佐藤駒次郎

發行所 東京市神田區表神保町一番地
健文社
振替東京四四八六四番
電話大手二九六四番

英文學名著選 定價金五拾錢
送料金二錢

Tagor

幡谷正雄先生譯註

英文學名著選

ド イ ル 篇短 綠 玉 冠 事 件	ア ア ウ イ ン グ 篇短 リ ツ ブ ・ ヴ ア ン ・ ウ イ ン ク ル	ポ ウ 篇短 ア ッ シ ャ ア 家 の 没 落	ラ ム 語物 マ ク ベ ス	ギ ツ シ ン グ 篇短 貧 乏 紳 士
--	---	---	----------------------------------	---

◆近刊豫告◆

各編定價五錢・送料二錢

東京神田區 振替口座 健文社 東京四四八六座

幡谷正雄先生譯註

譯註英文學名著選

第一編 バイロン 詩長 シ ヨ ン の 囚 人	第二編 ボ ウ 說小 赤 死 病 の 假 面	第三編 ラ ム 筆隨 燒 豚 の 起 源	第四編 シ ン グ 曲戲 海 へ 乘 り 行 く 者	第五編 ラ ム 語物 王 子 ハ ム レ ツ ト
---	---	--	---	--

香り高き英文學中その珠玉篇を抜いて、夙に文名高き幡谷先生の艶麗正確なる譯文と註釋を添ふ。價又至廉にして裝幀快清なり。一讀を奨む。

各篇定價五錢・送料二錢

東京神田區 振替口座 健文社 東京四四八六座

120

幡谷正雄先生譯註

英文文學名著選

コオルリヂ長老水夫の唄

ワイルド曲サロメ (上)

ワイルド曲サロメ (下)

ボウ短篇陥穽と振子

ラム短篇ロミオとジュリエット

•• 錢二料送 • 錢拾五金價定 • 編各 ••

◆ 以下續々刊行 ◆

東京神田區 表神保一 健文社 振替口座 東京四四八六

516

377

終